

技管協発第2904号
平成29年4月3日

各都道府県・市町村廃棄物主管部(局)長 殿
一般廃棄物処理施設管理者 殿
産業廃棄物処理施設設置者 殿
廃棄物処理施設技術管理者・同資格者 各位
環境カウンセラー・産業廃棄物処理責任者 各位
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 会員各位

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
会長 柳井 薫
(会長印は省略させていただきました)

第38回 廃棄物処理施設技術管理者 中央研究集会開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では廃棄物処理施設技術管理者（以下、技術管理者という。）の資質と社会的地位の向上を図るために、廃棄物処理施設の適正な維持管理に求められる知識、技術の研鑽並びに情報の交流の場として、別紙のとおり標記研究集会を開催することになりました。

本研究集会は、廃棄物処理施設技術管理者とその有資格者並びに廃棄物処理関係者が廃棄物処理に係る法制度及び技術等に関する研鑽を行うことにより、今後の廃棄物処理施設の適正な維持管理の推進、さらには廃棄物処理事業の発展に寄与しようとするものです。

本年度も環境省廃棄物・リサイクル対策部のご協力をいただき、以下のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【お問合せ・事務局担当】

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人 日本環境衛生センター内
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
TEL. 044 (288) 2456
FAX. 044 (270) 5566
E-mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp
担当 谷、石黒

— 技術管理者CPDS認定 —

平成29年度第38回 廃棄物処理施設技術管理者 中央研究集会のご案内

廃棄物処理施設は東日本大震災を契機として、大規模災害発生時の災害廃棄物処理や地域の防災・エネルギー拠点など、高度な地域循環圏の形成、地方創生へと、その期待はますます高まっています。

このような状況の中で、技術管理者制度が50年を経過し、廃棄物処理施設技術管理者（以下、技術管理者という。）とその有資格者等が自ら継続的に学習を行い、維持管理技術を研鑽することが必要です。

今後の50年はIoT(Internet of Things)、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)、といった新たな技術の進展により、廃棄物処理や維持管理が大きく変革するのではないかと期待されます。

そこで、協会創立50周年を記念して、廃棄物処理・リサイクルにおけるIoT、ICTやAIの現状と活用事例を紹介し、廃棄物処理の今後の方向性について考えてみます。

■開催日時：平成29年6月28日（水）10時00分～16時55分

■会場：連合会館（公益財団法人 総評会館）2階 講演：大会議室／展示：201会議室
東京都千代田区神田駿河台3-2-11, TEL：03-3253-1771（代）

■プログラム：注：プログラムおよびテーマは予定です。一部変更並びに時間割については、おってHP並びに別紙の参加申込受付証送信時等に最新版をご連絡させていただくことがあります。

時間	講演等の内容
9:30	受付
9:55	主催者挨拶 会長 柳井 薫
10:00	基調講演1「廃棄物処理行政の動向」／環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 企画課長 小野 洋（予定）
11:00	基調講演2「廃棄物処理・リサイクル分野でのIoT活用の可能性について」／国立環境研究所 社会環境システム研究センター 環境社会イノベーション研究室 主任研究員 藤井 実
12:00	昼食
13:00	事例発表「IoT、ICTやAIの最先端技術の活用による廃棄物処理と維持管理」 ①リサイクルビジネスに求められるIoTイノベーション／一般社団法人廃棄物資源循環ネットワーク 代表理事 林 孝昌
13:20	②トレーサビリティシステムの真価（QRコード活用法）／株式会社イーシス 代表取締役 石井 美也紀
13:40	③NEXT GENERATION AIロボットと選別の今後の未来／株式会社シタラ興産 代表取締役 設楽 竜也
14:00	休憩
14:15	④ごみ処理発電施設におけるIoT・AI技術の取組み紹介／JFEエンジニアリング株式会社 都市環境本部 管理部長／保延 和義
14:35	⑤AIを活用した運転支援システム／川崎重工業株式会社 プラント・環境カンパニー 環境プラント総括部 環境プラント部 基幹職／竹田 航哉
14:55	⑥運転・維持管理総合支援システムを利用した運営の取り組み／株式会社タクマ 環境本部 O&M推進部 部長／大橋 一宏
15:15	休憩
15:35	⑦プラント遠隔監視・運転支援システムの運用と活用／株式会社IHII環境エンジニアリング プラント設計部 部長／梶原 吉郎
15:55	⑧ごみ焼却施設ビッグデータ活用による最適運転管理に向けて／日立造船株式会社 環境事業本部 開発センター ACC&ICTグループ長／川端 馨
16:15	⑨当社遠隔監視技術の現状と展望／三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 エンジニアリング総括部 プラント設計部 計画グループ／今関 淳一
16:35	⑩DBOにおける遠隔サポートセンターの運用について／荏原環境プラント株式会社 プラント事業本部 プロジェクト技術部／黒澤 和重
16:55	閉会（受講証明書発行）

■主催：一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会

■参加費用（税込）：会 員 5,400円 / 非会員 10,800円

■申込方法

別添申込書に所定事項をご記入のうえ、下記お申込み・お問い合わせ先へFAXまたは郵送で送信ください。

- ★先着順に受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ★ご入金後のお取り消しはできませんので、申込者が出席できない場合は、代理の方の出席をお願いします。

■指定口座 三菱東京UFJ銀行川崎支店（普通）0095786

シャ）ハイキブツショリシセツギジュツカンリキョウカイ

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

★お振込の際、口座名義は入力欄に納まるところまでで結構です。

■申込・問い合わせ先

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6

TEL 044-288-2456 FAX 044-270-5566 E-mail gikankyo-info01@jaem.or.jp

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 事務局 担当 石黒・谷

個人情報取扱いについて

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会の、個人情報の保護の方針については、当協会HP (<http://jaem.or.jp/>) をご覧ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、本集会の連絡等および当協会の情報提供や当協会の情報提供や案内等に利用させていただきます。

会 場 連合会館の案内図

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

TEL：03-3253-1771（代）



- 【交通機関】 ●地下鉄：丸ノ内線／新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B3出口（徒歩0分）
東京メトロ丸ノ内線 淡路町駅 B3出口 ※（B3出口まで徒歩5分）
都営地下鉄新宿線 小川町駅 B3出口 ※（B3出口まで徒歩3分）
※B3a出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。
- J R：JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 聖橋口（徒歩5分）

お申し込みは、FAX 044-270-5566へ

平成29年度第38回 廃棄物処理施設技術管理者中央研究集会
参加申込書

1. 本受付証の送信先FAX番号をご記入ください。()

2. 参加者のお名前並びに会員No (会員は必須、非会員の方は空欄) をご記入ください。

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

3. 参加費 (いずれかに☑)

会 員 …………… 5,400 円 × _____ 人 = _____ 円

非会員 …………… 10,800 円 × _____ 人 = _____ 円

平成 29 年 月 日 (頃) に振込人名義 _____ で

振り込み済 / または 振り込み予定

その他支払連絡事項 (請求書要発行等) _____

4. 本参加申込に関するご連絡先等 ※技管協会員でご登録の連絡先に同じ場合は記入不要です。

担当者氏名 勤 務 先

所 属

所 在 地 〒

連絡先電話 () FAX番号 (上に記入願います)

E - M A I L 平成29年 月 日

※事務局記載欄

第38回中央研究集会 参加申込受付証

上記のお申込みを確認し受付いたしましたので本証をお送りいたします。
ありがとうございました。

(一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会事務局確認欄)

受付番号



※なお、当日は本証を受付にご提示ください。